

“今、何がなされようとしているか？”

ー明治維新以来のデマゴグ政治

平成24年 8月 6日

そうけんサロン交流会 スピーチ

財団法人島根総合研究所

理事長・公認会計士 山根治

1. 島根原発関連

1) 原子力兵器工場としての位置づけがなされようとしている。原発の存在理由。

(理由1) 原発の存在理由の喪失。原発安全神話の崩壊とエネルギー政策の3E、

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. Energy | エネルギーの安定供給性 |
| 2. Environment | 環境適合性 |
| 3. Economy | 経済性 |

の崩壊。

(理由2) 新たな目的＝「安全保障に資すること（核抑止力）」の追加（原子力基本法）。

2) カムフラージュ

- ・ 姑息な法改正
 - ・ 原子力規制委員会設置法、附則第11条による原子力基本法の改正
- ・ 外野席（目くらまし）
 - ・ 大飯原発再起動
 - ・ オスプレイの配備
 - ・ 尖閣諸島

2. 大橋川改修関連

1) 平成24年度 39億円、
平成25年度 35億円、
平成26年度 35億円、

20年間で500億円の予算。

(全て違法支出ー政策評価法違反)

2) 1) の背景

(1) 来年の松江市長選挙

(2) 国会（デマゴグ政治家の跋扈）

公共事業（10年間、200兆円）の財源としての消費税増税。

① 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行なうための消費税法等の一部を改正する等の法律案、附則第18条。

② ①の修正案、①の附則第18条に追加項目。（3党合意の実態）

③ 国土強靱化基本法案（自民党提出）

“我が国が直面する課題（第2条2）”

1. 経済の停滞

2. 少子高齢化の進展

3. 人口の減少

ー 1. ～ 3. は一部利益集団の課題にすぎないものであり、日本が直面している課題ではない。

(3) カムフラージュ

消費税増税法案と国土強靱化基本法案。→バラマキ財政の復活。

(4) 自民党の内情。債務超過100億円、破産状態。

3. 問題点

(1) 1. 2. 共に、国民を欺く犯罪行為。役人を中核とする一部の利益集団の売国行為。

(2) 東電に対する2兆円の不正融資と自民党の財務状況

債務者（銀行）の言いなりにならざるを得ない自民党。東電をめぐる2兆円の貸付金処理をめぐる疑惑。

1. H23. 3. 11以降に、東京電力に対して無担保・無保証融資2兆円を実行。融資実行時点で東電は破産状態。不正融資。

三井住友銀行 6,000億円

みずほコーポレート銀行 5,000億円

三菱東京UFJ銀行 3,000億円

他

2. 自民党の債務残高の推移

項目	H20年末	H21年末	H22年末
三菱東京UFJ銀行	34億円	32.75億円	31.125億円
みずほ銀行	31億円	30億円	28.75億円
三井住友銀行	31億円	30億円	38.75億円
りそな銀行	23億円	12.75億円	2.37億円
合計	119億円	105.5億円	101億円